

第13次水道事業経営審議会の審議状況等一覧 No. 1

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
<p>第1回 令和2年10月28日 (2020年)</p>	<p>17名</p>	<p>(1) 委嘱状交付 (2) 正副会長選出 (3) 水道事業の現状と課題 (4) すいすいビジョン2029の概要 (5) 水道事業経営審議会の概要と今後の審議事項</p>	<p>(概要) <ul style="list-style-type: none"> 水道事業を取り巻く状況と課題、すいすいビジョン2029の概要について説明 審議会の概要、これまでの審議経過や今後の審議内容について説明 </p> <p>(意見) <ul style="list-style-type: none"> 経年管の更新ペースが年間8kmとなっているが、古い管路は漏水が起りやすくなるため更にペースアップすべき。 管路の老朽化対策や耐震化についての考え方、気候変動による渇水のリスクや水道事業はCO₂排出量の多い産業であるため、省エネ化・脱炭素化に向けた取組などをフューチャー・デザインの手法を使い、議論できれば良いと思う。 地下水利用専用水道について、他市事例や法的根拠などの調査・研究を進めてほしい。 </p>
<p>第2回 令和3年12月17日 (2021年)</p>	<p>13名</p>	<p>(1) 令和2年度（2020年度）の経営状況について (2) 水道施設再構築事業の進捗について (3) 和歌山市水管橋崩落事故に伴う本市の応援活動について (4) その他</p>	<p>(概要) <ul style="list-style-type: none"> 本市の経営状況について、すいすいレポートに基づき説明 片山浄水所を中心とした施設整備について説明 和歌山市水管橋崩落事故の概要及び本市の応急給水活動について説明 優良地方公営企業総務大臣表彰受賞についての報告 </p> <p>(意見) <ul style="list-style-type: none"> 和歌山市の水管橋崩落事故を受けて、耐用年数を超過していても事故が発生する危険性があるため、本市の配水管等についても財政状況を見ながら前倒しで更新するなど、水道施設の強靱化を推進してほしい。 泉浄水所の機能停止の方向性は理解できるが、水道に携わる職員数の減少につながることを懸念されることから、職員の技術力を向上させるための教育・人材育成について検討すべき。 災害等の非常時において、遠方からの応援を円滑に受け入れられるような体制づくりを事前に行っておく必要がある。 </p>

第13次水道事業経営審議会の審議状況等一覧 No.2

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
<p>第3回 令和4年3月17日 (2022年)</p>	<p>13名</p>	<p>第1部：片山浄水所新施設について 第2部：片山浄水所新施設視察</p>	<p>(概要) 第1部：片山浄水所新施設の浄水・排水処理方法についての説明やPR動画の視聴など 第2部：片山浄水所新施設視察</p> <p>(意見) ・将来的な地下水の枯渇を危惧していたが、片山浄水所における地下水の適正な揚水量について調査されていることが分かった。 ・景観に配慮されていることは理解したが、今後施設の更新や建替え等をする場合は、デザインについても検討してはどうか。</p>
<p>第4回 令和4年9月21日 (2022年)</p>	<p>17名</p>	<p>(1) すいすいビジョン2029に基づく2年間の事業報告について (2) 第13次吹田市水道事業経営審議会を振り返って</p>	<p>(概要) ・すいすいビジョン2029の基本方針毎の振り返り及び今後2年間の取組について説明 ・2年間の審議を振り返っての感想</p> <p>(意見) ・安全で安心な水という面で、鉛製給水管は早めに取り替える方が良いため、今後も解消に向け取り組んでほしい。 ・省エネや脱炭素について、今後どうしていくかを考える際に、バックキャストの様な考え方を取り入れる必要があるのではないか。 ・DXの推進など、事業運営の効率を上げるための方法を今後検討する必要があるのではないか。</p>